

【提出意見とそれに対する栃木県の考え方】

「第5期栃木県食育推進計画『とちぎ食育元気プラン(2026-2030)』（素案）」に対する意見募集を行った結果、1名の方から2件の御意見を頂きました。貴重な御意見ありがとうございました。

提出された御意見を十分検討の上、それに対する県の考え方を次のとおりまとめました。

項 目	意 見 の 内 容	意見に対する考え方
基本目標1 基本的方向3 施策の展開(2) 優れた食文化の保護 ・継承 (計画案P27)	<ul style="list-style-type: none"> 食育推進目的の和食料理人がお店で教える料理教室の開催 お手軽に和食料理人による技術が学べる機会を設ける。 料理に限らず和食全般で和菓子や酒造りや味噌作り、お茶の淹れ方など各分野のお店に赴いて体験できる機会を設ける。 	<p>本県では、食育の推進に向け、関係団体と連携し、料理教室の開催など体験機会の充実を図っているところであり、次期計画案においても、「料理教室等各種イベントを通じた郷土料理や日本型食生活の普及促進」に取り組むこととしております。</p> <p>また、本計画の初年度である令和8(2026)年6月に本県で初開催する食育推進全国大会においても、お茶の入れ方教室やだしの試飲など和食文化に関わるブースが多数出展される予定ですので、大会を契機として和食文化の更なる普及啓発に取り組んで参ります。</p>
基本目標3 基本的方向2 施策の展開(3) 食育を推進する体制づくりの支援 (計画案P39)	<ul style="list-style-type: none"> 災害時における手軽にできるレシピの紹介の配布 協力店などで災害時に役立つお米の炊き方などを紹介するポスターなど配布する。 	<p>本県では、県栄養士会等と連携し、災害時に手軽に栄養バランスのよい食事ができるレシピ等の検討を行っております。</p> <p>御意見を踏まえ、今後も関係機関との連携を強化し、災害時における栄養バランスのとれた防災食の啓発に取り組んで参ります。</p>